 <b>JWRC</b> <b>水道ホットニュース</b>	<b>(財)水道技術研究センター</b> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail <a href="mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp">jwrchot@jwrc-net.or.jp</a> URL <a href="http://www.jwrc-net.or.jp">http://www.jwrc-net.or.jp</a>
---	--

## 地方公営企業年鑑にみる我が国の水道事業の状況 (その4)

### 9. 規模の大きな上水道事業・用水供給事業における経常利益等の推移

以下は、「平成17年度水道統計」の総論中「表5 規模の大きな上水道事業」及び「表6 規模の大きな水道用水供給事業」の上位10事業体について、経常利益等の推移をみたものである。

経常利益(経常損失)は、事業体別・年度別に相違があるのは当然であるが、図9-1に示すように、東京都の経常利益は他の事業体と比べても大きいことがわかる。

表9-1 規模の大きな上水道事業の経常利益・経常損失の状況(単位:千円)

	H7	H10	H15	H17
東京都	27,426,776	30,886,518	38,850,744	52,967,047
大阪市	-21,719	5,378,906	3,420,717	7,468,211
横浜市	-7,548,419	44,116	4,049,849	7,190,026
神奈川県	-1,157,769	4,562,354	-4,103,456	-2,966,769
千葉県	470,767	4,595,928	6,539,519	9,132,896
名古屋市	-2,292,640	969,215	982,936	1,322,494
京都市	-1,378,701	355,261	793,402	344,672
川崎市	-425,057	2,011,336	1,639,540	419,758
札幌市	1,103,287	508,900	1,276,540	1,534,445
神戸市	-5,950,636	1,449,976	311,125	-199,704
合計	10,225,889	50,762,510	53,760,916	77,213,076

表9-2 規模の大きな水道用水供給事業の経常利益・経常損失の状況(単位:千円)

	H7	H10	H15	H17
神奈川県内広域水道(企)	5,533,299	6,314,138	-4,220,608	372,079
大阪府	503,519	-164,548	4,452,781	4,228,843
埼玉県	5,081,427	1,815,997	1,674,727	1,856,509
愛知県	2,168,877	-1,960,836	3,294,522	4,043,929
阪神水道企業団	-1,577,105	128,537	-2,181,339	-1,597,646
兵庫県	70,630	1,063,431	693,364	1,178,262
沖縄県	951,926	575,516	526,220	512,959
宮城県	-726,732	591,390	2,807,982	645,253
北千葉広域水道企業団	-226,535	892,275	2,522,043	2,200,221
奈良県	860,390	994,461	1,150,455	842,176
合計	12,639,696	10,250,361	10,720,147	14,282,585

図9-1 規模の大きな上水道事業の経常利益・経常損失の状況  
(H7、H10、H15、H17)

JWRC

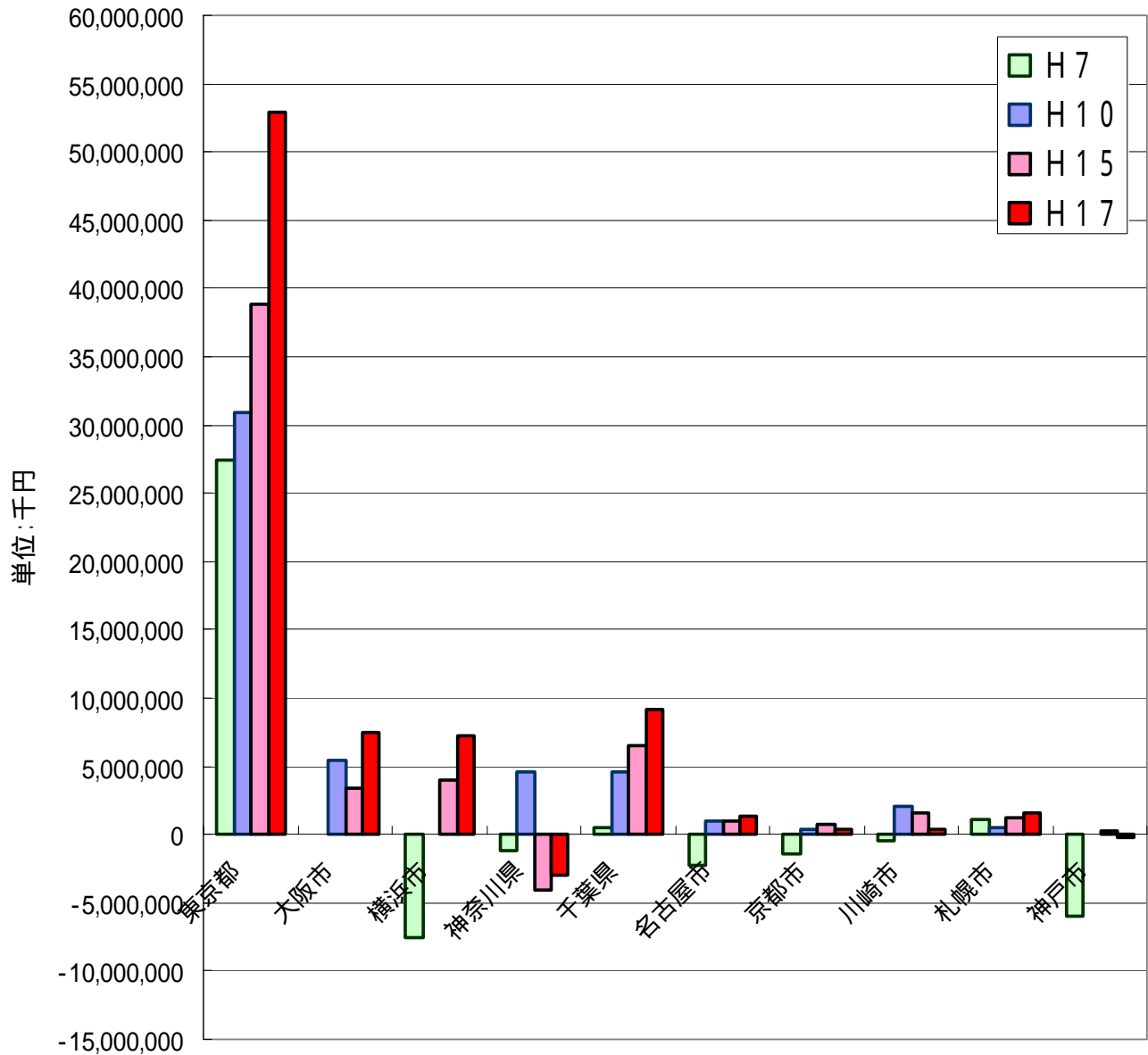
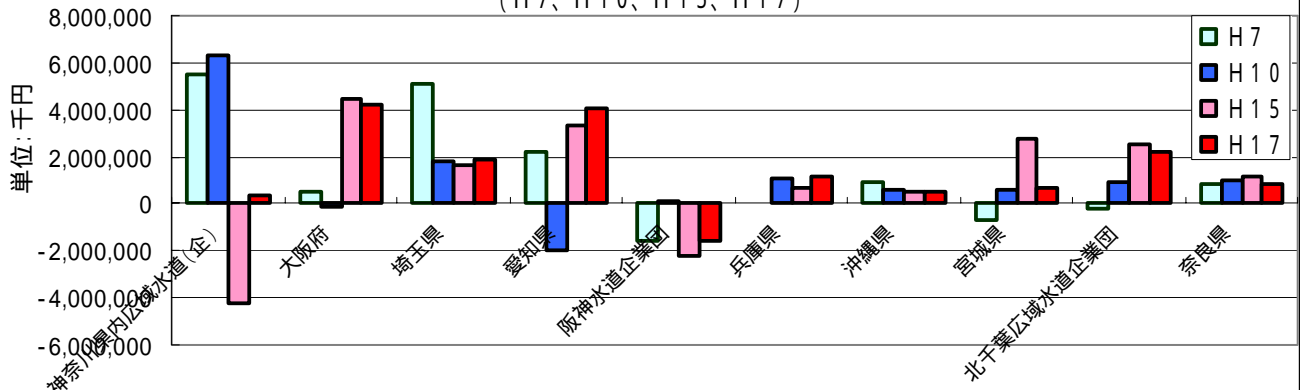


図9-2 規模の大きな上水道用水供給事業の経常利益・経常損失の状況  
(H7、H10、H15、H17)

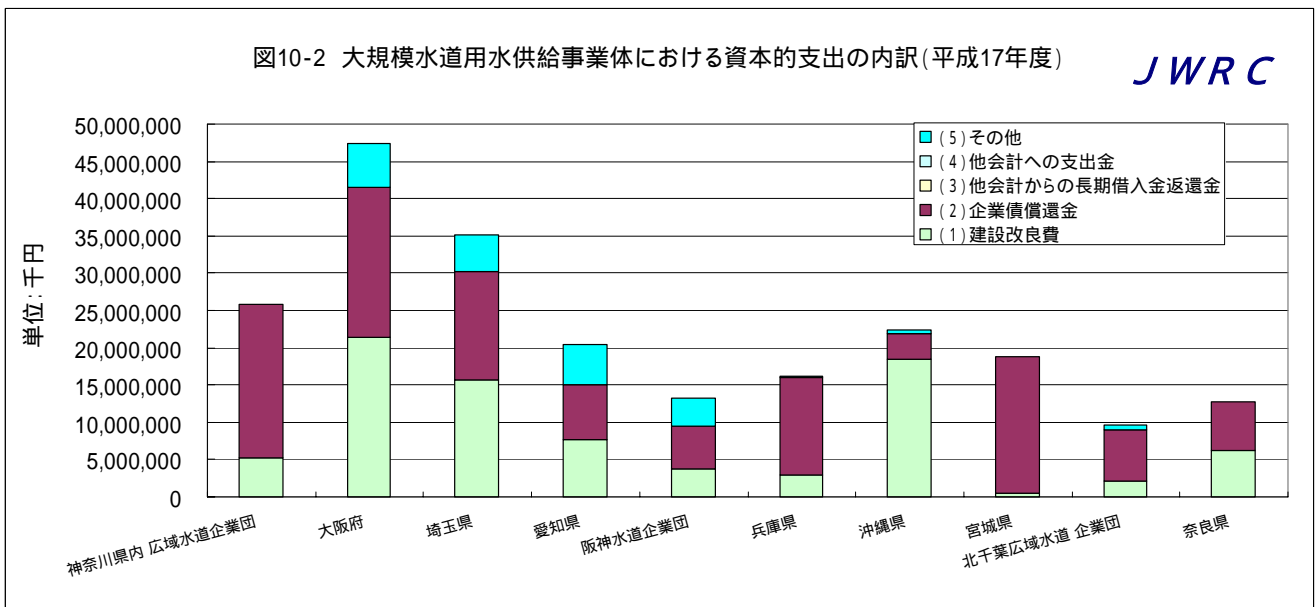
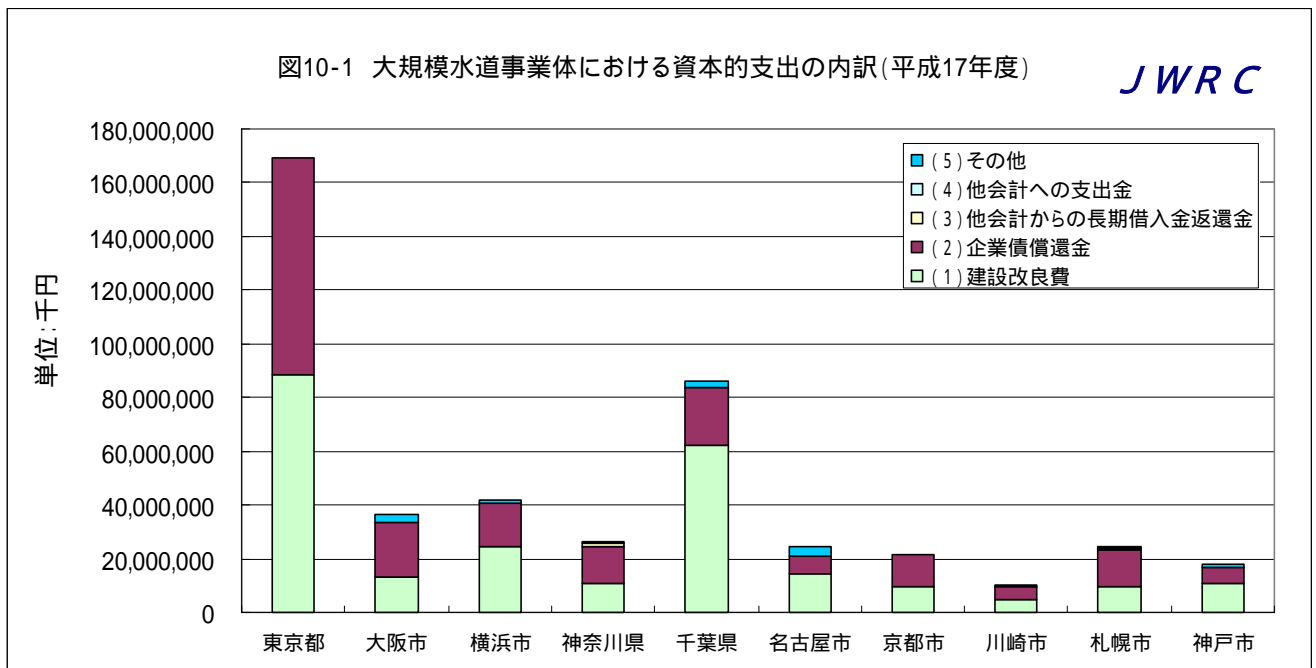
JWRC



# 10 . 規模の大きな上水道事業・用水供給事業における資本的支出の内訳

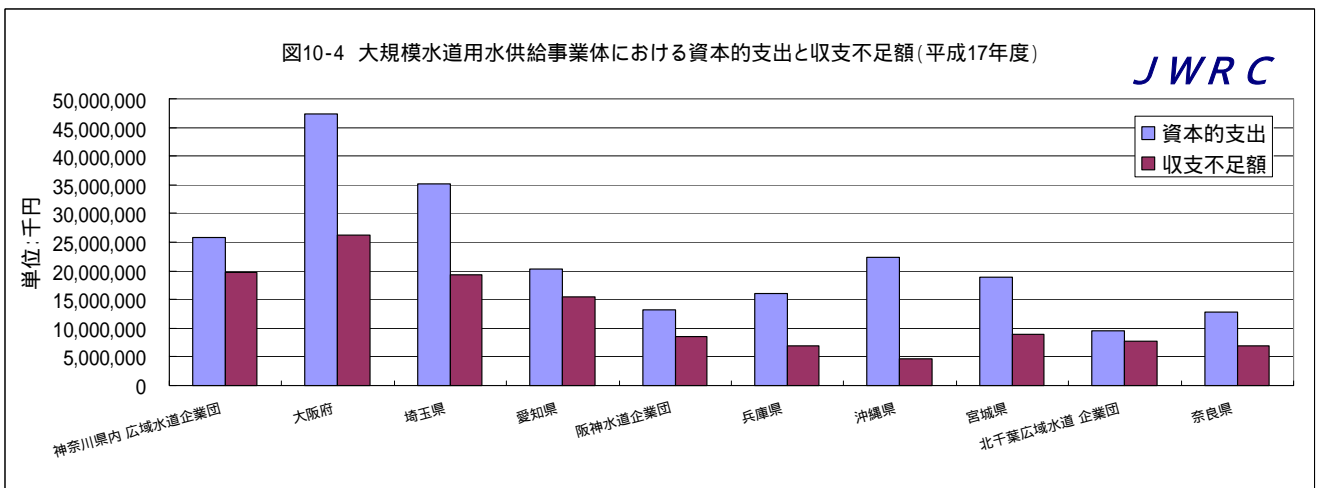
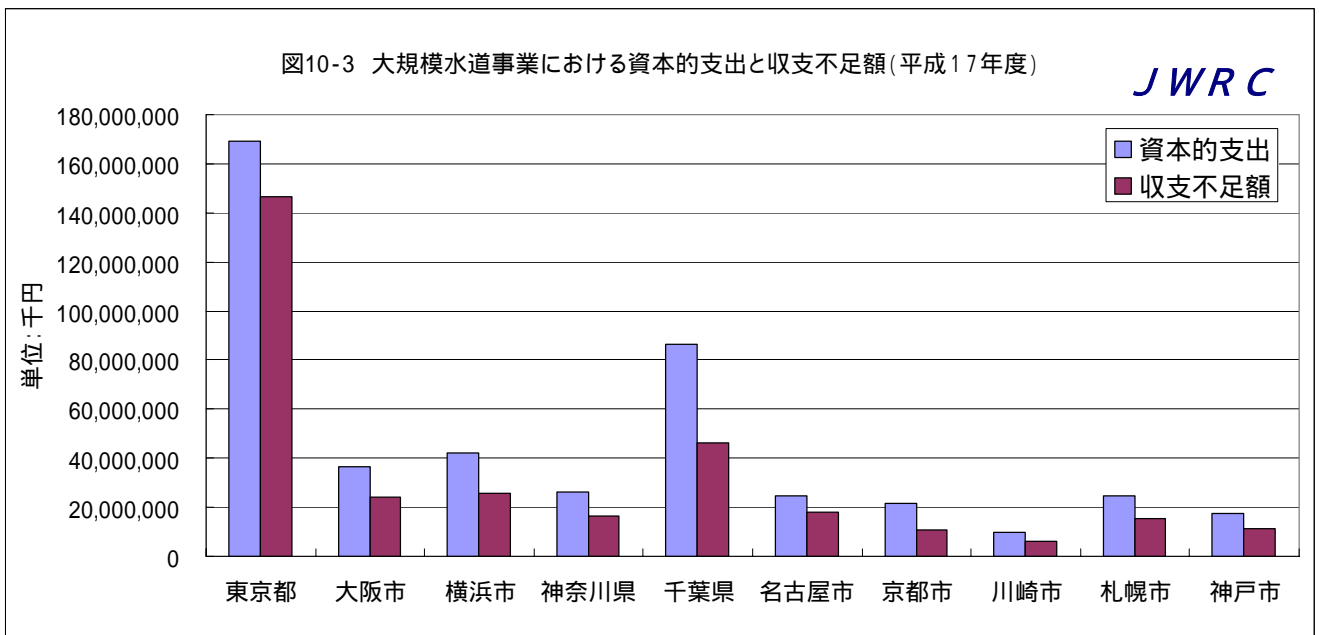
## 10 - 1 資本的支出の内訳

図 10-1～1-2 は、大規模水道事業体及び大規模水道用水供給事業体における資本的支出（平成 17 年度）を示したものであり、沖縄県・千葉県のように「建設改良費の割合が大きい」事業体がある一方、宮城県・兵庫県・神奈川県内広域水道企業団のように「企業債償還金の割合が大きい」事業体もあり、様々である。



## 10 - 2 資本的支出と収支不足額

図 10-3～10-4 は、大規模水道事業体及び大規模水道用水供給事業体における資本的支出と収支不足額（平成 17 年度）を示したものであり、収支不足額が東京都では 86.8%、北千葉広域水道企業団では 79.2%を占めている。



### 10-3 資本的支出の補てん財源

図10-5～10-6は、大規模水道事業体及び大規模水道用水供給事業体における資本的支出の補てん財源(平成17年度)を示したものであり、事業体によって補てん財源が大きく異なっていることがわかる。

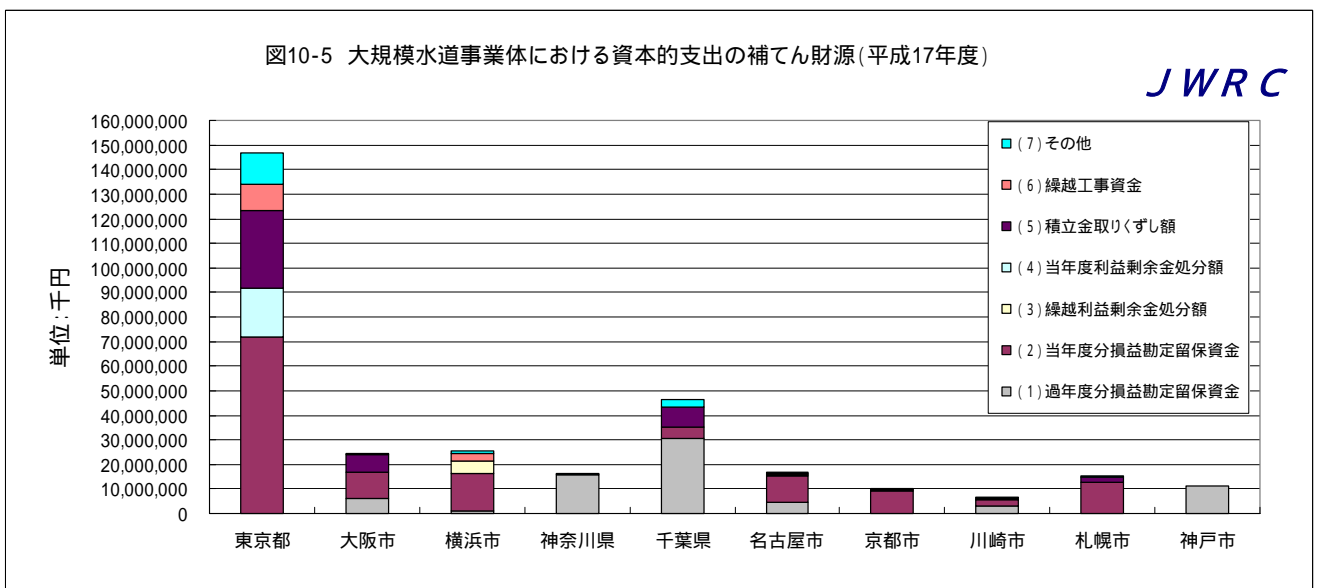
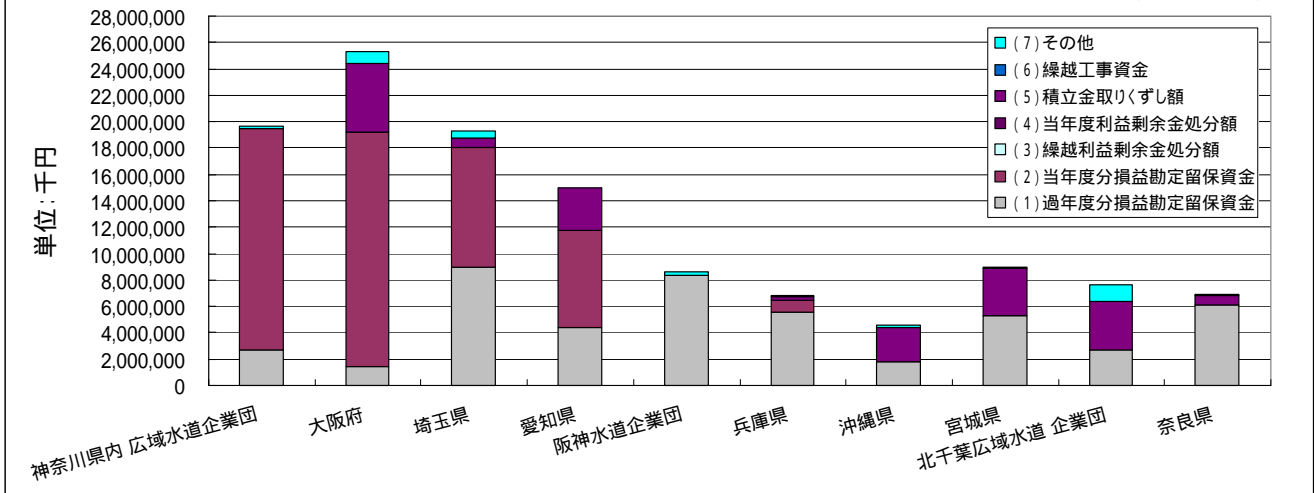


図10-6 大規模水道用水供給事業者における資本的支出の補てん財源(平成17年度)



**(参考) 損益勘定留保資金(そんえきかんじょうりゅうほしきん)**

資本的収支の補てん財源の一つで、当年度損益勘定留保資金と、過年度損益勘定留保資金に区分される。当年度損益勘定留保資金とは、当年度収益的収支における現金の支出を必要としない費用、具体的には減価償却費、繰延勘定償却、資産減耗費(現金支出を伴う除却費を除いたもの)などの計上により企業内部に留保される資金をいう。ただし、当該年度に欠損金が見込まれる場合は、これに相当する額を控除した範囲内ではしか補てん財源として使用できない。過年度損益勘定留保資金とは、前年度以前に発生した損益勘定留保資金であるが、当年度の補てん財源として使用できる額は、過年度に使用した額を控除した残額である。  
(出典) 日本水道協会発行「水道用語辞典」

(文責) センター常務理事兼技監 安藤 茂

**配信先変更のご連絡等について**

「JWRC 水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当  
E-MAIL : [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)  
TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215  
また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。